



MIHARU Rotary

クラブ方針

2019-20 三春ロータリークラブ テーマ

エンジョイロータリー

Program

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング「奉仕の理想」
3. 四つのテストの唱和
4. 会長挨拶
5. 幹事報告
6. 各委員会報告
7. 友の見どころ 川又 暉之さん
8. 会員卓話 増子 博保さん 山口 晋司さん
9. 閉会点鐘

2020年 希望の一文字（書：玄侑 宗久）

友の見どころ・会員卓話例会

令和2年1月16日（木） 19:00～ 場所：割烹 八文字屋

会長挨拶 大内 富雄

皆様こんにちは。先週の例会は新年会でありました。新年をお迎えになり皆様方の抱負なども聞かせて戴き、夢の様な楽しいひと時をありがとうございました。私個人の思いであります今年こそは絶対に旅に出ると心に決め、その想いを実現できる様心掛けたいと思っている処であります。歳も明け会長の任期もあと半年かと胸を撫で下ろしたい処ですが、今年度の三春ロータリークラブは、後期に入りいろいろな行事が待っております。何と申しましても此処一番の行事は、皆様ご承知の通りクラブ創立50周年記念式典であります。この式典行事を何としても素晴らしいイベントとなります様、実行委員会でいろいろと準備をして頂いております。また、準備のための時間的な余裕が必要になるかと思っております。幾つか例会の時間を利用して戴く事となるかもしれませんが、プログラムの変更は極力せずに中身を少々時間的に融通して戴き、進めたいと考えて居りますので会員皆様のご協力をお願い致します。また、友好クラブとの行事も発生してまいります、これらに付きまして例年通りに実行しなければと考えて居りますので、その節には皆様方のご協力をお願い申し上げます。話は変わりますが、今月は職業奉仕月間でありますので職業業奉仕のお話をさせて戴きます。ロータリーでは、サービスの理念を基本として職業の価値を深く認識し、職業の道徳的水準の目標を高く設定するとともに、具体的職業活動にあたってはその目標に向けて最良質の努力を尽くす事によって、他人のために尽くす事を実現すべきものとしています。これが職業奉仕という考え方の原点であると言っても過言ではありません。ロータリーは、基本的に人間生活に必要な需要の集積が、人間社会の決定的側面であるところと見え、この事は、人々の需要を満たす職業の集積であると捉える事を意味していると言われております。職業は天すなわち社会から与えられた天職であるとされる所以であり、その職業の集積を職業分類として組織的に把握し、社会の変化に伴うその変化に適切に対応する様に努め、今では改定になりましたが、ちょっと前までは一業種一会員の原則に基づき、クラブが各会員に夫々が対応する職業分類を貸与すると云う仕組みを工夫しています。その仕組みによってクラブがその存在する地域社会の需要をバランスよく充足し、クラブ会員の職業活動の成果が、クラブの地域社会の需要に効果的に反映しうる様になっています。従いましてロータリーでは、職業は社会に貢献するための手段ではなく、職業奉仕自体が社会に貢献する事と捉えています。



これが職業奉仕を社会奉仕と区別する基本的な理由でありますし、ロータリーが単なる社会奉仕団体ではないとする理由でもあります。職業奉仕とは、ロータリアンでない人を含むすべての人たちに、職業上のあらゆる関係においてサービスの理念を分かち合う、ロータリアンの責務であるとも言われる所以でもあります。申すまでもなく職業奉仕は、サービスの理念を基本として職業の道徳的水準を高める事、社会に有用な業務が尊重されるべきであると云う認識を深める事、ロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために業務を品位あらしめる事と、綱領において表現されています。この内容は、総論と各論に区分されます。総論は、職業の道徳的水準を高める事と、職業の充足度を高めるために、顧客、仕入先、雇主、従業員、共同経営者、同僚、同業者その他の職業の関係者や、社会一般の人々との関係の公正なあり方を正しく捉え、職業の道徳的水準の目標を高く設定する事だと云われております。各論は、業務を通じて社会に奉仕するために、関係者の需要や立場を思いやりの心で正しく捉え、職業の高い目標を充足する最良質の成果を提供するよう努める事だとも云われます。はなし下手の私が話しますと、ロータリーの職業奉仕はチョット難しい、理屈的な話になってしまいますが、職業奉仕をさらに具体的にわかり易くする表現として、「ロータリアンの職業宣言」が採択されて、今日に到っています。また、1954-55年度の会長ハーバード・テイラーは、1932年、倒産寸前の会社を救済するため、「四つのテスト」を提唱して関係者に頒布し、見事にその会社を再建し発展させました。爾来この「四つのテスト」が、ロータリアン各自が自己の職業奉仕を自己評価する尺度として、決定的に重要な機能を果たして今日に到っている事は、皆様よく御承知の通りであります。職業奉仕月間にあたりロータリーの基本であります職業奉仕のお話をさせて戴きましたが、難しくてチョットつまらない話になってしまいましたが、お付き合いを戴き感謝申し上げます。ご清聴ありがとうございました。

幹事報告 市川 宏一 (代読)山口晋司

1. 1月16日(木)50周年実行委員会・理事会
●18時から食事 18時30分から50周年実行委員会
終了後理事会を開催 八文字屋
2. 1月17日(金)県中分区 会長・幹事会
●会場 常葉町商工会 18時～
3. 1月18日(土)職業奉仕委員会セミナー
●12時30分登録 郡山ユラックス熱海
4. 1月23日(木)ゲスト卓話「小貫万寿雄田村警察署副署長」
(来訪者) 八潮ロータリークラブ3名 高橋会長・飯泉幹事・熊田会員
多くの皆様の出席をお願い致します。
5. 1月25日(土)リーダーシップ研究会(RLI)セミナー パート1
●8時30分登録 郡山ユラックス熱海

友の見どころ 川又 暉之さん

横組み

3ページ

マーク・ダニエル・マローニーRI会長メッセージ

1月は職業奉仕月間。RI会長メッセージで、「どんな職業であれ、誠実に、常に「四つのテスト」に従って働けば、誰もが世界で大きく貢献できる。これは特に、若い人々をロータリーに招き入れるうえで大きな意味がある。多忙な若い世代に入会を求める際、時間や自由を犠牲にすることを求めてはなりません。入会候補者への一番のセールスポイントは職業奉仕であることを忘れてはなりません。

6ページ;ロータリーの誕生とその成長、日本のロータリー;歴史の再確認と現状把握。



7ページ 特集 職業奉仕 温故知新 私の職業奉仕考

He Profits Most Who Serves Best の真意 尼崎西RC 田中 毅氏(第2680地区1996-97年度ガバナー)

アーサーF. シェルドンが創案した、RIのモットー(上記)の真意は100年にわたり、いろいろな解釈が試みられてきた。イギリスではドイツ社会学者のマックス・ウェーバーの説くプロテスタンティズムの倫理論に基づいた解釈が主流、日本は東洋的発想が採り入れられた。田中氏は15年かけてシェルドンの著書の内容を分析。シェルドンの思想では、Profitには精神的なものは全く含まれず、金銭的利益そのもの。シェルドンの業績の内容は、イギリスの経済学者ジョン・ケインズの修正資本主義そのもの。職業奉仕の原点となるモットー、One (He) Profits Most Who Serves Best の真意が確定した現在、これに反する解釈は許されませんとある。RIのモットー(標語)は、第一標語;超我の奉仕、第二標語;最もよく奉仕する者、最も多く報われる。Heは2004年にTheyに、2010年にはOneになった。

11ページ100年かけて育んできた「日本の職業奉仕」

甲府北RC 小林聡一郎氏(第2620地区2019-20年度ガバナーノミニー)

日本人的に、Vocationalという言葉も、Serviceという概念も正確にニュアンスまで理解するのは難しい場合がある。直訳は職業奉仕。日本においてこの「職業奉仕」の概念は何を内包しているのか。この分かりにくさが、今なお不明部分を残す結果となってきたように思う。RI的解釈とは別の概念を持つ、日本における職業奉仕をどう説明するか。RI的解釈の職業奉仕は「自分の職業スキルを生かした奉仕活動をそう呼ぶ」であって、日本においては、もう一つ別の職業奉仕概念を育んできた。「もう一つの職業奉仕」こそ、ロータリーの本流の考え方であると取り扱えばよいと。小林氏は職業を職業スキルだけで語るのとは間違っていると語る。ただ二者択一ではないとも。日本独自の職業奉仕概念の深化は大切。お金とマンパワーで大掛かりな人道的慈善奉仕活動、もしくは職業スキルで行う奉仕活動の、ロータリー理念希薄化を憂い、ロータリアン一人一人がよって立つ理念を究め、精神的空洞を埋める役割こそ「日本の職業奉仕」が存在する根拠という。日本においての職業奉仕概念を深めてきた歴史は、日本人的感性で培ってきた、豊かな思想の広大な森。決して、時代遅れの服を着て、世界万民の目にさらされている「日本の職業奉仕」ではない。思考的な先端にいるのが「日本の職業奉仕」です。

17ページ;第48回 ロータリー研究会レポート

- ・「行動計画」;2024年までに、4つの事項を優先に進められる5か年計画。
- ・ローターアクトクラブが、RIの加盟クラブに含まれること、昨年の規定審議会で決定した。(参照32ページ)

22ページ;ロータリー財団奨学生第1号 緒方貞子さん追悼文

緒方さんが口癖のようにいっていたこと「一番重要なことは、命を助けるということ」

30ページ;米山奨学生学友会(兵庫)

35ページ;地区大会略報 2530地区・芳賀ガバナー

44ページ;ホノルルに行こう・案内

縦組み

4ページ;会社員として、ジャズプレーヤーとして~両立が自分らしさ 職業奉仕か

小川理子さん(パナソニック㈱テクニクスブランド事業担当参与・ジャズピアニスト)

- ・人間にしかできない仕事というのが確かにある、と私には言い切れる。
- ・良い音とは、言葉によって定義できる。一つは音が出た瞬間の生命力、エネルギー感があること。もう一つはある音を長く聴き続けたときにその音に愛着を感じる。

- ・どんなに欠点のない音であったとしても、心に響かないものはだめ。
- ・今までに大切にしてきたこと;一つは「挑戦し続ける」、二つ目は「豊かに発想し、創造、クリエイトする」、三つ目は「信念と情熱を持ち続ける」

9ページ

この人訪ねて 与儀みどりさん(東京山王ロータリークラブ)

黒子に徹する美容師の矜持;技術力はあって当たり前。お客さまが何を望んでいらっしゃるか。自分ではなく相手の都合に合わせて仕事ができないと。むしろそちらが大事。即位の礼で7人の女性成年皇族のヘアメイクを担当。1990年の秋篠宮妃紀子さま、1993年皇太子妃雅子さまのロイヤルウェディングのヘアメイクを担当。

その人本来の美を引き出し、その日の元気と生きる勇気を与えるのが美容の神髄。

13ページ 友愛の広場 ; 職業奉仕に関する投稿

18ページ 卓話の泉 ; 女の機嫌の直し方(名古屋東南RC 花井 勉氏)

24ページ ロータリーアットワーク ; 声援に沸くソフトボール新人戦大会(郡山安積RC)

会員卓話 増子 博保さん

皆さん、こんにちは。

本日は、一昨日「商工会青年部主張発表 田村地区大会」での商工会長としての私の挨拶の時に話した内容を披露したいと思います。この商工会青年部の主張発表大会は、商工業の後継者たる青年部員の資質の向上、並びに商工会の次代を担うリーダーの育成を主たる目的に、20年以上も前から実施されています。

この「主張発表」は、特に「型」を覚えることが大事だという話をしました。

平成24年、57歳の若さで亡くなった18代中村勘三郎さんの言葉に「**型があるから型破り、型が無ければ、それは単なる形無しだ。**」という言葉があります。

御存知の通り、勘三郎さんは、生前に歌舞伎を沢山の人に知ってもらい楽しんでもらおうと、渋谷の文化村にあるシアターコクーンで新しい演出の「コクーン歌舞伎」を実施したり、ニューヨークで「平成中村座」を上演して、ニューヨークタイムズ紙に大絶賛されるなど、新しい歌舞伎の在り方にチャレンジした歌舞伎界の改革者です。そんな彼の活動取材していた記者の「勘三郎さんの演技は型破りですね!」という言葉に対して彼が言った言葉が、**「型があるから型破り、型が無ければ、それは単なる形無しだ。」**です。

その通りだと思います。型があるということは、基礎がしっかりしているということです。基礎もなく闇雲に何かをやってもただ「散々」なだけです。

商工会青年部の活動も、女性部の活動も、もちろんロータリーの活動も、会議の運営方法、総会やイベントの進め方等、型を身に付けることが沢山あります。

この出張発表でも、「**起承転結**」や「**主張・根拠・主張**」等の発表の型をしっかり学ぶことが出来ます。何かを主張する場合、やはり理路整然と分かり易く話しをしないと相手に伝わりません。この主張発表を経験することで、相手に自分の主張を、的確に伝える方法が身に付きます。

さらに、人前で堂々と話す度胸も付きます。私も、人前で話すのは、今でも相変わらず緊張しますが、肝は据わってきたと思います。やはり経験することが大切です。

といったような話をしました。

「型」を身に付けるということは、どんな仕事でも通用することだと思います。そしてそれを完璧に身に着けたのであれば、それを破ってみて新たな型に挑戦することも大事なことはないかと思っています。

ボリビア サンファン日本人移住地



2019年7月に秋篠宮家の長女眞子さまが南米ボリビアのサンファン日本人移住地を訪問されました。1955年に入植が始まったころ、ボリビアでは「**犬も通わぬ**」と称されるほど環境が厳しいことで知られていました。入植者には、移住政策を進めた日本政府に「**だまされた**」という思いがいまだに残っているみたいです。移住地では、最初の入植から2年後に政府間協定に基づく計画移住が始まり、当時の日本政府の誘い文句は「**土地50ヘクタールを無償提供**」という事でした。



ボリビア側が用意しているはずの道路や学校も見当たらず、日本の外務省に抗議しましたが、『**あなたたちは望んで入植したんでしょ**』とも言われたみたいです。

退路を断たれた入植者は、日本的なやり方に活路を見だし、森林の伐採などの重労働を分担、資金を出し合って学校や病院を建て、農協を組織して地道に開拓を進めた。いつしか移住地は米や小麦、大豆、鶏卵の同国随一の生産地に。平均農地面積は東京ドームの64倍に当たる30万ヘクタール以上。今や「サンファン」はボリビアのモデル農村として有名になっています。

入植当時、リーダー的存在でもあった若槻泰雄氏の銅像。



日本人移住地の運動会。国旗は日本・ボリビア両国を掲揚



盆踊りなども盛んに開催されています

三春ロータリークラブでも、ボリビアの子供たちへ楽器を送る活動は今年で10年をも越えています。支援そして交流と繋がっていければと思います。秋篠宮家は、国際交流館「ライスレイクの家」に夫婦でお立ち寄りになったり、最近ではブータン王国との交流等・・・三春の交流事業にも似ている部分が多々あります。





地区アクション END POLIO賞
三春ロータリークラブ



感謝状
大内 富雄さん



マルチプル ポールハリス フェロー(第六回)
佐久間 英一さん



ベネファクター
増子 博保さん



Smile Box スマイルボックス

- 大内 富雄さん
本日、2530地区より感謝状をいただきました。御礼を申し上げます。
- 福原 義守さん
今年、初めて孫から年賀状が届きました。嬉しくてスマイルします。

本日も多くのスマイルありがとうございました。 計 2,000 円

友好クラブの活動紹介

八潮ロータリークラブ(埼玉)



(1月14日)
早朝八潮RCロードサポート
朝霞RCからも応援で参加

春日部西ロータリークラブ(埼玉)



(1月16日)
第2770地区第6グループ インターシティーミーティング開催

